

年の瀬に思いを込めて・・・



平沢 匡朗

Masaaki HIRASAWA

チェンバロリサイタル

J. S. バッハ

ゴールドベルク変奏曲

BWV988 (全曲)

Joh. Seb. Bach
Goldberg - Variationen
BWV 988

Masaaki Hirasawa

2020年12月13日(日曜)午後2時開演

於:松本記念音楽迎賓館

料金: 3000円 (全自由席・要予約)

チケットは発行いたしません。予約をお願いいたします。
新型コロナウイルス感染対策を実施して開催いたします

お問い合わせ・チケット予約:
アンジェミュージック 田中 090-1858-4244
E-mail: angelmusic.meguro@gmail.com
www.angemusique.com
(右のQRコードからもアクセスできます)



不眠症の伯爵を慰めるために作曲されたという伝説のある「ゴールドベルク変奏曲」は、極めて愛らしい「アリア」に基づく30の変奏からなり、古今の鍵盤楽器のための最も大規模な作品であると共に、極めて情愛細やかな名作として知られています。2015年に、初めて、ここでゴールドベルク変奏曲全曲を演奏してから5年が経ちました。昨年に引き続き今年も再びこの曲を取り上げてみる事にいたしました。是非お越しいただければ幸いです。



■平沢 匡朗(ひらさわ・まさあき) piano

桐朋学園大学卒業。福元さざれ、中山 靖子、渡邊 康雄、デートレフ・クラウスの各氏に師事。GPAダブリン国際ピアノコンクール特別賞受賞。日演連主催「えんれん」コンサート、横浜市新人演奏会等に出演。

堤俊作指揮ロイヤルチェンバーオーケストラ定期演奏会でのベートーヴェンの第4番、東京交響楽団とのモーツァルトの第24番など、各地でのピアノ協奏曲のソリストとして招かれたほか、ダブリン、ウィーン、東京など国内外においてのピアノリサイタル、NHK・FM『FMリサイタル』などの放送出演など、独奏者として幅広く活動している。2009年秋にはルーマニア・ブラショフ フィルハーモニー交響楽団とギリクのピアノ協奏曲を共演し、好評を博した。

室内楽奏者としても、イヴリー・ギトリス、トマス・フェオドロフ、カリン・アダム、マルタ・カーデム＝ミサク、瀬戸 瑠子、天満 敦子、木野 雅之、等のヴァイオリニスト、宮原 卓也、原田 茂生他の声楽家と共演するなど、各地で演奏活動を行っている。

ピアノ・ソロCDに『平沢匡朗 プレイズ モーツァルト』(2006年9月レコード芸術誌準推薦)『平沢匡朗プレイズベートーヴェン』他多数あり、高い評価を得ている。

またチェンバロの演奏にも意欲を示し、2011年9月には日本フィルハーモニー交響楽団とバッハのブランデンブルク協奏曲第5番を演奏、2015年12月には、チェンバロによるバッハのゴールドベルク変奏曲全曲演奏するなど、幅広く活動している。

最近の活動としては、モーツァルトのピアノソナタ全曲連続演奏『モーツァルトの旅路』(2013)、ピアノ、指揮の2役によるモーツァルトのピアノ協奏曲の演奏会(2014～2017)などがある。2016年からは、横浜市神奈川区民文化センター(かなっくホール)における全7回連続演奏会シリーズ「モーツァルトの会」、2017年度より新シリーズ「ショパンの会」を監修、および出演している。

2011年より、田園調布混声合唱団指揮者を務めている。

海外においても、1996年より毎夏、ウィーン近郊の町、ホルン(Horn)における《Allegro Vivo》オーストリア国際室内楽音楽祭に参加、コレペティトゥアおよびピアノ・マスタークラスを担当している。また、洗足学園大学講師として後進の指導にもあたっている。

松本記念音楽迎賓館

<http://ongakugeihinkan.jp/>

所在地:東京都世田谷区岡本2-32-15

電話:03-3709-5951

電車・バスご利用の方

ステンドグラスを目印にいらしてください。

東急田園都市線「二子玉川駅」よりバスを利用の場合

東急コーチ玉31成育医療研究センター行き※、

または玉32美術館行き

停留所「岡本三丁目」下車・徒歩4～5分

小田急線「成城学園前駅」よりバスを利用の場合

東急バス都立01都立大学駅北口行き

停留所「岡本三丁目」下車 徒歩4～5分

